

小 おのまち

議会だより

176号

令和5年
11月14日発行



定例会9月会議

4 常任委員会審査

7 町政を問う!6人が一般質問

14 常任委員会研修レポート

16 中学生議員が町づくりについて問う!

18 議会活動トピックス

こまちダムへの急登に挑む選手

定例会9月会議

9月7日～15日

令和5年小野町議会定例会9月会議は、9月7日から15日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和4年度各会計の決算、令和5年度各会計補正予算など16件の町長提出議案と報告1件、議員提出議案1件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、6名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。



▲本会議の様子(佐久間監査委員より監査報告)

◆物価高騰などに伴う給付金等を補正

各会計の補正予算額は、下の表のとおりです。

一般会計の収入と支出において、収入では地方交付税、国や県の支出金及び田村広域行政組合解散に係る精算金などが増額となりました。支出では、物価高騰対応生活困窮世帯支給給付金、光ファイバ支障移転工事負担金、自治体システム標準化支援業務委託料、地域づくり応援事業補助金、すこやか出産・妊産婦医療費助成金などが増額となりました。

また、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、浄化槽整備推進事業、文化・体育振興基金の各特別会計及び水道事業会計では現時点での所要の補正を行ったものです。

※1万円未満切り捨て

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	1億8692万円	62億707万円
特別会計	国民健康保険	1439万円
	後期高齢者医療	254万円
	介護保険	1億2122万円
	浄化槽整備推進事業	▲74万円
	文化・体育振興基金	28万円
水道事業会計	収益的収入	5万円
	収益的支出	12万円
	資本的支出	562万円

◆令和4年度の決算を認定 全7会計 約85億円支出を審査

※1万円未満切り捨て

会計区分	歳入総額	歳出総額	決算の主な内容
一般会計	59億4939万円	56億3501万円	町政各般にわたる諸事業に要した経費です。
特別会計	国民健康保険	12億2547万円	国民健康保険に関する事業に要した経費です。
	後期高齢者医療	1億1792万円	高齢者の医療給付に関する事業に要した経費です。
	介護保険	14億4815万円	介護サービスに関する事業に要した経費です。
	浄化槽整備推進事業	6987万円	町が浄化槽の設置と維持管理に要した経費です。
	文化・体育振興基金	263万円	文化・体育各団体へ活動補助金などに要した経費です。
	水道事業 収益的収支	1億7127万円	浄水場等の維持管理や減価償却費等の経費です。
	資本的収支	6067万円	企業債償還金及び水道管の布設替えなどの経費です。

◆町の財政を診断 健全な段階で推移

地方公共団体の財政の健全性に関する比率の報告

法律の規定により、町の財政の健全性に関する指標が報告されました。

数値は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は健全な段階で推移しています。

健全化判断比率(%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
小野町	—	—	4.7	—
早期健全化基準(黄色信号)	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準(赤信号)	20.0	30.0	35.0	—

資金不足比率(%)

区分	水道事業会計	浄化槽整備推進事業特別会計
小野町	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0

※実質公債費比率…普通会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
※将来負担比率…普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。数値が小さいほど健全
※小野町では実質赤字や資金不足がないことから、それに関連する指標は「—」と表示

議案提出者：宗像 芳男議員

議員派遣について
小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議員派遣について

議員提出議案を一件可決しました。

議員提出議案

変更後の契約額：8千606万2千9百円

現在施工中の林業専用道整備事業早渡大平線新設に係る工事内容に変更が生じ、予定価格が5千万円以上であることから、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約先：有限会社 高柴建設

◆林業専用道整備事業早渡大平線新設工事請負変更契約の締結について

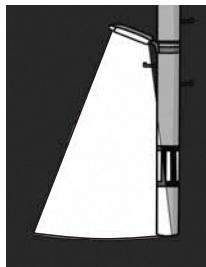
◆変更契約締結

地域未来投資促進法の計画に基づき実施した事業に要する土地、建物、償却資産等の取得に伴う固定資産税の課税特例（課税免除）に係る適用期限を一年間延長する等、所要の改正を行うものです。

◆小野町税特別措置条例を一部改正

条例の一
部改
正

ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査



予算決算常任委員会

町民生活課

問 中長期在留者の外国人登録者数は

答 中長期在留者数は8月末時点
で144名。12か国の外国人が小野

町に居住しており、国籍別ではイン
ドネシアが62人、ベトナムが20人、
ブラジルが18人、ミャンマーが17人
などとなっている。

問 LED防犯灯の方部別の設置数は

答 小野新町地区が632基、飯豊
地区が353基、夏井地区が
328基である。行政区別では谷津
作が110基、夏井が95基、浮金が
78基と多く行政区からの設置要望
や面積などによりばらつきがある。

健康福祉課

敬老祝い金の対象者数は

答 令和5年度は100歳が5名、
90歳が66名である。

問 eスポーツの参加者数はどれくらいいるのか

答 約70名おり、効果測定のため参
加者を2チームに分け計8回実施
し検証している。
参加できないチームの方などに
は別途体験の機会を設ける。

子育て支援課

問 結婚祝品のリカちゃん
人形を受け取った方の感想は

答 直接聞いたことはないが今後、
感想を聞いていく。

地域整備課

住宅使用料の未収分は

答 現年分が約113万円、過年度
分は約1780万円となつており
回収に努める。



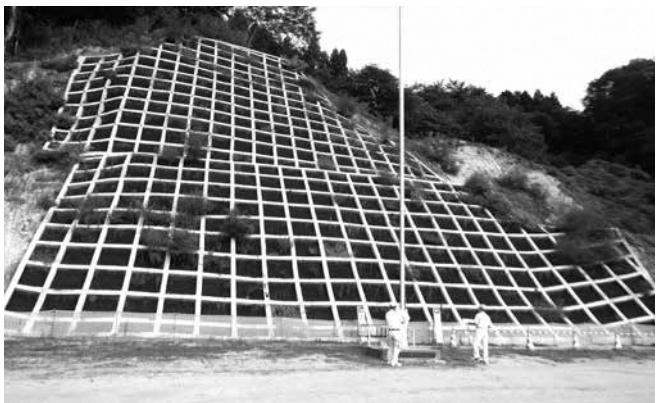
教育課

問 多目的研修集会施設の
使用料は、町内・町外事業者の
減免はあるのか

答 非営利目的の事業者及び芸術
文化団体については無償である。



▲現地にて担当課長より説明(小野小)



▲小野小学校グラウンド法面復旧工事後



▲スマイル公園脇多目的トイレ



▲小野町B&G海洋センタープール(改修後)

審議した議案と各議員の



・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

議案名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
定例会9月会議 町長		令和4年度小野町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和4年度各特別会計等歳入歳出決算の認定 6件	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和5年度小野町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和5年度各特別会計等補正予算 6件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税特別措置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		林業専用道整備事業早渡大平線新設工事 請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

◆議会費の公表

議会基本条例第22条第2項の規定により、令和4年度の議会費の使途を公表します。



項目	金額	使途の内容
職員人件費	1859万円	事務局職員に係る人件費です。
議員報酬等	5271万円	議會議員の報酬や議員共済会への負担金等です。
議会運営	540万円	視察旅費、会議録作成料、各種負担金等です。
議会政策	67万円	各常任委員会の行政調査及び調査活動です。
議会だより発行	72万円	おのまち議会だより4回分の発行経費です。
合計	7811万円	

※1万円未満切り捨て



石見養護学校の生徒たちが作った積み木を誕生日に(子育て事業)



邑南町役場の前にて

議会議員の全体研修会を4年ぶりに実施し、島根県邑南郡邑南町役場を訪問しました。
邑南町は島根県中部に位置し、人口が約1万人で面積は419.3km²と県内一の大きさを誇り「日本一の子育て村」食と農を切り口とした「A級グルメの町」を通じたまちづくりに取り組んでいます。今回は「移住定住対策」を中心とした研修を行い、地域おこし協力隊による就農サポートや移住者ケアの取り組み、子育て事業の取り組み、「A級グルメの町」の取り組みなど、担当課長より説明を受け意見交換を行いました。これらの取り組みにより、平成25年には転入者が転出者を上回る社会増を実現しております。



研修会の様子(意見交換)

小野町議会全体研修会を実施(9月19日～21日)

6人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(11月下旬掲載予定)

先崎 勝馬 議員 8ページ

- 1 子育て応援金について
 - ・出産祝い金について
- 2 おのまち総合計画について
 - ・まちづくり協議会について
 - ・発酵のまちづくりについて
- 3 2025年問題について
 - ・高齢化社会について
- 4 入札について
 - ・町発注の入札について
- 5 一般質問について
 - ・一般質問の答弁後の対応について

緑川 久子 議員 9ページ

- 1 持続可能なまちづくりについて
 - ・近隣市町村との広域連携の取り組みについて
- 2 子育て支援施設整備について
 - ・施設の機能と相談体制の充実について

會田 百合子 議員 10ページ

- 1 福祉行政について
 - ・シニア向け事業を通じた「生きがい」を育める地域づくりについて
 - ・就労・社会参加支援事業について
 - ・福祉・介護事業について
- 2 学校でのマスク着用について
 - ・現状と指導について

中野 孝一 議員 11ページ

- 1 「選ばれるまち」について
 - ・「選ばれるまち」対策取り組みについて
 - ・公共施設について

宗像 芳男 議員 12ページ

- 1 一般行政について
 - ・町政運営について
 - ・地域づくり協議会について
- ◆ 2 役場庁舎建設について
 - ・各種行事の中止について
- 2 農業振興について
 - ・浮金第二地区圃場等の基盤整備について
- 3 教育行政について
 - ・認定こども園について
- 4 健康福祉行政について
 - ・健康まつりについて
 - ・温浴施設等の考え方について
- 5 環境行政について
 - ・浮金原北山地区への土砂搬入について

水野 正廣 議員 13ページ

- 1 町の重点プロジェクトについて
 - ・町の魅力発信、移住・定住支援のための施策について
 - ◆ 2 町の魅力発信、移住・定住支援のための専属担当職員の配置について
 - ・協働の体制づくりのための町の関りについて
- 2 公共施設整備について
 - ・放課後児童クラブ等施設整備の経過と進捗状況について
 - ・小野町新庁舎建設の進捗状況について
 - ◆ 3 庁舎移転による町の将来像について





笑顔とがんばり子育て応援金について

答

条例改正も含め制度の見直しに取り組む

された子育て応援金
が令和4年に改正さ
れ、応援金自体が第1
予5万円、第2予10万
円、第3予以上15万円
と減額されているも
のの、保育園児の栄養
費としての給食費補
助、小・中学校入学祝
金としてそれぞれ3
万円の支給があり、総
額では増額されてお
ります。

子連れで再婚し、そ
の子供が養子縁組を
し、新たに出産した事
例があり、母親として
子どもを算定人数に

平成25年に制定
された子育て応援金
が令和4年に改正さ
れ、応援金自体が第1
予5万円、第2予10万
円、第3予以上15万円
と減額されているも
のの、保育園児の栄養
費としての給食費補
助、小・中学校入学祝
金としてそれぞれ3
万円の支給があり、総
額では増額されてお
ります。

は第3子田になりま
すが、条例に同一戸籍
内の子の出生順位と
の記載があるため、第
1子分の支給になつた
ようです。少子化対策

を重点に掲げている
のであれば、条例改正
をすべきだと思うが、
町の考えをお伺いし

ます。

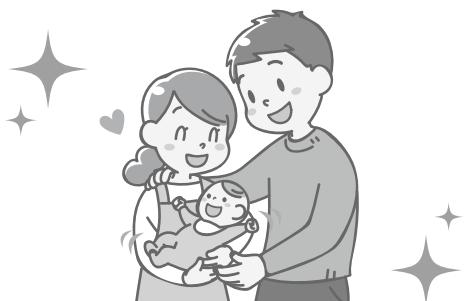
町長 予育て応援金
制度の趣旨は、予育て
世帯の経済的支援の
ほか、夫婦で子どもを
より多く持ちたいと
いう意欲を引き出す
意味合いもあり、制度
発足当初より、同一父
母から生まれた子の
出生順位に応じて支
給を行い、前配偶者と
の子どもを伴い再婚
した場合などは、その



先崎 勝馬 議員

は第3子田になりま
すが、条例に同一戸籍
内の子の出生順位と
の記載があるため、第
1子分の支給になつた
ようです。少子化対策
を重点に掲げている
のであれば、条例改正
をすべきだと思うが、
町の考えをお伺いし
ます。

町長 予育て応援金
制度の趣旨は、予育て
世帯の経済的支援の
ほか、夫婦で子どもを
より多く持ちたいと
いう意欲を引き出す
意味合いもあり、制度
発足当初より、同一父
母から生まれた子の
出生順位に応じて支
給を行い、前配偶者と
の子どもを伴い再婚
した場合などは、その



町長 町民の皆様の
生活や安全を維持し
ていくためには、行政
のみでなく町民身近な
地域活動が必要不可
欠であり、行政区を越
えた枠組みでそれぞ

れの地域が有する知
識、能力、行動力を互
いに活用・補完し合え
る組織をつくり、地域
政区を統合してほし
いのか、目的を明確に
すべきだと思います。
協議会を設置しても、
町主導で進めない限
り難しいと思われま
すが、改めてお伺いい
たします。

町長 町民の皆様の
生活や安全を維持し
ていくためには、行政
のみでなく町民身近な
地域活動が必要不可
欠であり、行政区を越
えた枠組みでそれぞ

れの地域が有する知
識、能力、行動力を互
いに活用・補完し合え
る組織をつくり、地域
政区を統合してほし
いのか、目的を明確に
すべきだと思います。
現時点で具体的な
組織設立の日途は立つ
ていませんが、地域の
実態把握、他自治体の
先進事例なども研究
しながら持続的に活
動できる組織の設立に
向けた取り組みを、積
極的に進めて参りたい
と考えております。



答

知識・能力・行動力を活用・補完し それぞれの地域にあつた取り組みが重要

まちづくり協議会設置の目的を明確に



緑川 久子 議員



持続可能な町をめざす 広域連携の取り組みを



ふくしま復興道路の整備による 新たな広域連携を図る

問 今後、人口減少・少子高齢化が進む中で、単独の自治体では行政サービスを提供していくことが難しくなっていくことが全国的に問題視されています。小野町が持続可能な町として継続していくには、インター チエンジや吉間田・滝根線の開通など交通の利便性を生かし、近隣市町村がそれぞれの有する資源を融通し合い、有效地に活用するなど、広域連携の取り組みが重要になつて

維持するための取り組みを進めておりま す。近隣市町村が有する資源の融通につきましては、住民サービスをお互いに提供しあうメリットがあります。

今後、ふくしま復興道路の整備により、これまでの田村・郡山・いわき地方とのつながりに加え、川内村など双葉地方との新たなつながりも形成しながら、この機会を逃すことなく、積極的な広域連携を図つて参りました。

答 令和7年に整備される子育て支援施設は、全ての子どもたちが安心して過ごせる第3の居場所として、また発達支援や子育てに関する情報や相談などを気軽に行業する親子の交流の場となります。さらに、ヤングケアラーやさまざまな困難を抱えるお子さんや子育て世帯など、セーフティーネットの役割も担う場所としても重要な要であり、個々の実情に応じた支援体制が求められています。

また、すぐすぐ発達

ぐるを考えますが、町

の見解を伺います。

町長

田村地方との連携や郡山広域圏での包括連携協定など、活力ある経済社会を



子育て支援施設の機能と相談体制について

0歳から18歳までの一體的な子育て支援と専門職による相談体制を充実を図る

多様な子育てに対する地域の子育て支援の拠点として、施設の機能と相談体制について伺います。

教室や子どもの相談室において、保健師や保育士、臨床心理士などの専門職による相談体制の一層の充実

を図り、子育てサポートなどの多様な人材を活用した親子の教室の開催など、地域の子育て支援機能の充実を図る取り組みも継続して行って参ります。

町長

新たな子育て支援施設は、0歳から18歳の全ての子どもを対象として、放課後児童クラブを中心とした子どもの居場所づくり事業、一時預かり事業、地域子育て支援拠点事業、発達支援事業などの多様な子育て支援サービスを、一體的に行っていく予定です。

子育ての各段階において、より効果的な切れ目のない支援策を実施し、安心して子育てができる環境を

整備して参ります。



シニア層の活躍による成果目標と達成に向けての事業は

答

要介護認定率の引き下げと訪問指導や介護予防事業を実施

特に高齢者層の健康づくりと介護予防を強調しています。

町長　一億総活躍社会の実現に向けて、シニア層の活躍の中で特に重視している成果指標と、その達成に向けて行っている事業について伺います。

町長　一億総活躍社会の実現に向けて、あらゆる年代の方が、生き生きと活躍できるまちづくりを図っています。

町長　高齢者の方を考えますが、町長の考え方を伺います。

町長　生きがいづくりの一つとして就労支援も行っております。町内事業所の求人情報を町で把握し、マッチングに努めているほど、教職員の目が届きにくい場面では、マスクの着用を推奨し、学校到着時や帰宅後は速やかに手洗い等を行うよう指導しております。



會田百合子 議員

は重要であり、町の総合計画において、要介護認定率の引き下げを目標に掲げており、その達成に向け、保健師等による訪問指導やヘルスアップ運動教室などの介護予防事業に取り組んでいます。

再質問 高齢福祉施策において、シニア層の方が幸福の実現に向けて生きがいを育むことは重要なと考えます。

教育長 衛生管理マニュアルの見直しを行い、家庭との連携により、生きがいづくりの

感染状況が落ちています。

今後も、法令や国の指針に基づき学校と連携を図りながら、感染状況等を踏まえた

す。

特に高齢者層の健

康づくりと介護予防を強調しています。

す。

町長　生きがいを持つて自分らしい暮らしを続けることで、生活の

質が向上し、認知機能や健康状態が改善す

す。

町長　生きがいづくりの

感染状況が落ちています。

す。



学校でのマスク着用の現状と指導について

衛生管理マニュアルによる指導と対応を図る



今後も、法令や国の指針に基づき学校と連携を図りながら、感染状況等を踏まえた指導と対応を図ります。



中野 孝一 議員



「選ばれるまち」の重点的に取り組む事業の上半期の結果は



SNS登録者数の増加、移住定住支援実績3件、地域おこし協力隊の追加募集

問 「新たな小野町総合計画」の基本目標5の「選ばれるまち」における令和5年度実施計画7施策7事業につきまして、重点的に取り組んでいる事業の上半期の結果について、伺います。

町長 町広報紙をはじめ公式ウェブサイトや新聞などのマスメディア、フェイスブックやラインといったソーシャルネットワーキングサービス等を通じて積極的に町の魅力を発信しており、町公式

SNSの登録者数は現在約1,300人となっています。移住・定住支援については、町内で新たに住宅を取得した移住者や若者世代を対象とした「来ておのまち」とした「来ておのまち住宅取得支援事業」や、インターネット公式サイト「ふるカツ」を活用した空き家・空き地に関する情報提供、町外から移住された若者世代の方が町内の民間賃貸住宅を借り受ける際の家賃の一部を補助する「若者民間賃貸住宅家賃補助事業」に取り組み、今年度の利用実績は3件となっています。

答 環境を見据えた練習に対応した施設になつてているか

問 「選ばれるまち」になるための取組について伺います。

町長 町民の方々との連携が必要ということであり、町民自らがその魅力を町外に発信することが、効果的な発信であると考えます。

まずは、町民と町が協働で取り組む意識の醸成を図つて参ります。

問 町民体育館、並びに小野運動公園施設、特に多目的グラウンド・野球場等について、インターネットの掲載サイトを2つ追加し募集を進めています。

町長 プロスポーツのように、入場料を取る試合を開催する場合には、競技ごとに細かく定められている規定に沿った競技会

場の整備が必要となります。しかし、一般的の公式戦やそれを見据えた練習には十分に対応できる施設であり、これまで、市町村対抗野球大会をはじめ、県が主催する大会等においても、数多く利用されてきていくところであります。

今後も利用者にとってより良い練習や大会ができるよう環境整備を進め、交流人口の拡大に努めて参ります。



役場庁舎の全体像を早めに示してほしい

答

今年度は調査期間であり、完成イメージは来年度になる予定である

町長 新庁舎建設の全体像については検討を進めていますが、今後、必要な機能等の

考えをお伺いします。

町の永年の案件である庁舎建設については、建設地の決定、調査設計の段階まで進みつつありますが、

どういうものができるのかその全体像が分からぬなど、調査

設計の段階から確信のない噂話が先行しているため、早めに全体像を示して欲しい



宗像 芳男 議員

検討を行うとともに、調査設計業務についても今年度いっぱいの委託期間後に基本設計に移る予定としています。

そのような状況か

ら、具体的な完成イメージをお示しできるのは、来年度になる予定ですので、もうしばらくお待ちいただ

きたいと思います。

再質問 急激に人口が減少している時代、町の財政や地域、町民のニーズに合った庁舎を作るべきと思いま

地域住民は不安・不審・信用できないとい

う状況について、町の見解を伺います。

町長 浮金原地区へ

の土砂搬入の経過は、

令和5年4月に事業者より伐採届が提出

され6月には伐採に係る状況報告書の提出を受け、事業者立ち

合いのもとで現地調査を実施。当該地は窪

答



事業の進捗の確認と事業者への対応に努める

地となつており、伐採後に客土のうえ植栽するという造林計画

に基づき、事業者から

町、田村警察署小野分

庁舎等に相談し、搬入

路沿線の地元住民の方々に周知したうえ

で、7月から土砂の搬入が行われています。

当該地の面積は1ヘクタール未満であ

り、現状林地開発許可、採石法等の適用の

対象外のため、町が事業者を指導監督する

立場にありませんが、

定期的な現場確認を

実施し、搬入土砂につ

浮金原北山地区への土砂搬入について 対策はないのか

の提出を求めたところです。また、事業計

画の変更が生じる際には、速やかに福島県

や町などの関係機関

に協議や申請等を行

うほか、安全確保に十

分配慮するよう事業者に申し入れを行つて

います。

今後も地元の声を聞きながら事業の進

捗を確認し、必要に応じて事業者に対応を

求めることで、安全の確保や地域の方々の

不安の払しょくに努めたいと考えています。

の提出を求めたところです。また、事業計画の変更が生じる際には、速やかに福島県や町などの関係機関に協議や申請等を行なうほか、安全確保に十分配慮するよう事業者に申し入れを行つています。

当該地の面積は1ヘクタール未満であり、現状林地開発許可、採石法等の適用の対象外のため、町が事業者を指導監督する立場にありませんが、定期的な現場確認を実施し、搬入土砂についての土壤分析結果



水野 正廣 議員



町の魅力発信、移住・定住支援のための専属担当職員を配置してはどうか



当面は現職員体制を維持しながら専門的分野のスキルアップに努める

町長 専属担当職員の配置は、職員数の関係から難しく、当面は現職員体制を維持しながら、専門的な研修を受講させるなど、職

きとを考えますが、町の考え方を伺います。

か疑問です。専属職員を配置し町の魅力を強力に発信し、移住・定住につないでいくべきと考えますが、町の

内外の方々に効果的に伝わるよう、情報発信にさらに力を傾けるとともに、地域おこし協力隊その他の方々に協力をいただき、移住・定住を含めて参りたいと思いま



小野インター・エンジ周辺整備基本構想を新たに策定し、示したい



庁舎移転による町の将来像について

再質問 ある程度責任を持つた人間が判断し返答、対応でき

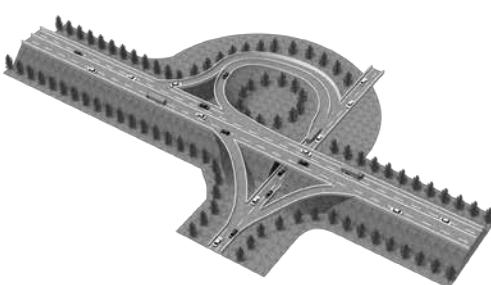
町長 現状では専属の職員を配置できる状況ではない、町の職員は方針を決定したり指導監督をするなど、十分関わりを持つて行くことで、「理解をいただきたい。

町長 新たな総合計画における町の将来像「人が輝きみんなでつくる しあわせ小野町」の実現に向け、都市計画マスタープランの策定作業を行っております。

スキルアップ!



公共施設等整備方



問 町の魅力発信、移住・定住支援など、いろいろな施策を実施していますが、町内外に理解されているのか

内外の方々に効果的に伝わるよう、情報発信にさらに力を傾けるとともに、地域おこし協力隊その他の方々に協力をいただき、移住・定住を含めて参りたいと思いま

針など各種計画との整合を図り、小野高校空き校舎等の利活用、多様な主体との連携、協働により、小野イン

ターチェンジ周辺整備基本構想を新たに策定し、お示しして参りたいと考えております。



新庁舎を建設計画予定地に移転することにより、将来の小野町の姿をどのように想い描いておられるのか

発信して、町民に安心と希望を与えるべきとを考えますが、町長にお伺いいたします。

研修レポート

研修先：神奈川県開成町
静岡県長泉町

実施期日：令和5年10月11日～13日

総務文教常任委員会 委員長

水野 正廣

小野町が目指す将来像の実現のため、庁舎建設・人口減少対策の分野における参考事例の調査を実施しました。

開成町

「田舎モダンを象徴する庁舎」の整備

令和2年5月に開成町役場の新庁舎が開庁、日本で初めてのZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルとして消費エネルギーの削減と自らのエネルギー生産によりエネルギー消費をゼロにする）庁舎として整備。

役場庁舎としては珍しく北向きの建物でしたが、高い位置から外光を取り込むことで、十分な明るさを確保でき、また屋上には499枚の太陽電池モジュールが設置されており、庁舎で使われる電力の24%を賄うことが可能であるとのこと。

将来的レイアウト変更等にも柔軟に対応できる柱の少ないロングスパン構造等、様々な環境に配慮されており、庁舎建設の検討を進めるうえで参考になりました。

人口対策について

町の面積が約6・55km²と東日本では面性が一番小さな町です。

昭和30年町制施行以来、人口が増え続け

ており、計画的な基盤整備や子育て支援のほかに、プラウティング（自社製品や自社ブランドを形成するための様々な「ミニユニア

ケーション活動）が要因として挙げられる。特にプラウティングは、平成27年町のプラ

ンド化に着手し、若手職員によるプラウティングプロジェクトチームを立ち上げる

とともに、デザイン会社へ委託し、広報紙、封筒、ごみ袋などを統一性あるデザインにしてこととで町への愛着が高まっているように思えます。

地理的条件や財政規模等のから比較は難しいが、町内全体で町のプラウティングを進めていく体制を構築し成果を上げていることは当町でも参考とするべき。

移住定住対策について

長泉町

昭和35年町制施行以来人口が増加して

いる町であり、定住対策として住んでいる町民の満足度を上げる事業を優先している。なお、移住施策については今年度より行わわれている。

他の自治体より高齢化率は低く30代か



▲高所から外光が取り込まれる（役場庁舎）

人口減少が進む中、財政規模や地理的な条件の違いなどはありますが、事業の発想や展開などが多くあり、取り組み次第で町全体の発展に繋がっているのだと思います。

今回の行政調査に丁寧に対応いただきました開成町のみなさま、そして長泉町のみなさまに感謝申し上げます。

ら50代が多いが、20代前半の世代が突出して少ないため、安心な子育て環境を創るための充実した子育て施策により、人口割合が増えていったようであり、子育て支援の充実を感じている割合は非常に高い。

財政規模や地理的条件での比較は困難であるが、今住んでいる人がいかに住みやすくて感じるか満足度を上げる取り組みの姿勢や、施策を実施するための前段の分析や情報収集がしっかりとされており、見習るべき点がありました。

常任委員会

研修先：福井県高浜町
京都府与謝野町

実施期日：令和5年10月18日～20日

厚生産業常任委員会 委員長

会田 明生

民啓発の2点を講座の重点項目に位置づけ、行政・医療者・住民が一体となって様々な取り組みを行ってきた結果、町内の常勤医師数は13名となり、「医学生や研修医も大きく増加しました」。

当委員会では、小野町が目指す将来像の実現のため、健康・福祉・産業（農業）の分野における参考事例の調査を実施しました。

高浜町

医療崩壊の危機

高浜町は、平成13年に13名いた町内常勤医が年々減少、平成20年には5名まで減少し、115床を有する高浜病院は常勤医3名の状態に。

町内の常勤医師が減少する状況下に、住民は「町内に病院がなくても近隣自治体に行けば病院はあるから」など無関心である等々、町の課題となっていました。

地域医療の再生

地域の医療環境に強い危機感を持つた高浜町は、平成21年より「福井大学医学部地域ブライマリケア講座」を寄付講座として開設。3年ごとの期限付きの講座として開設され、令和3年度から5期目となる活動が展開されています。

高浜町の寄付講座は、医学教育の展開、住

す。

特に健康力フェスは、医療や福祉の専門家に限らず地域住民・団体が自由に参加し、楽しみながら意見を出し合う場となっています。

また、視察の前日には「健康×高浜クイズ大会」「おたのしみ大抽選会」が開催されるなど、住民が楽しみながら健康になれる様々な取り組みが展開されていました。

与謝野町

与謝地域山村活性化協議会

京都府与謝野町の与謝地域（与謝・滝・金屋）では、金屋集落の農業の担い手がなく、滝集落の農業者・農業法人が耕作する獣害対策フェンスを一体的に設置するなど、地域連携の形ができていきました。さらに、京都府の地域連携事業、中山間直接支払制度、多面的機能支払事業などを実施することで、広域化・機能強化が進み、平成27年度に協議会が設立されました。



▲赤ふん坊やの中身は？

赤ふん坊やの中身、想像できましたか？答えは診療所の先生です。健康まちづくりのキーマンです。

与謝地域の集落連携の基礎を築いたのはならず、農地所有的確法人、建設会社、社会福祉法人、観光協会など、事業者も参加。それが連携協力し、まさに地域総動員で事業を展開しています。

地域総動員での活性化

協議会の構成は3つの自治会（住民）のみならず、農地所有的確法人、建設会社、社会福祉法人、観光協会など、事業者も参加。それが連携協力し、まさに地域総動員で事業を展開しています。

協議会の取り組み

具体的な取り組みは、将来の意向調査と調査結果の地図情報化、農産物の販売・加工、農福連携、町有施設活用、動画による情報発信等々、様々な事業が展開されています。

協議会の構成は3つの自治会（住民）のみならず、農地所有的確法人、建設会社、社会福祉法人、観光協会など、事業者も参加。それが連携協力し、まさに地域総動員で事業を展開しています。

研修を終えて

与謝地域の集落連携の基礎を築いたのは今、80代の皆さん。小野町は？診察の合間にに対応していただいた井階先生・高浜町の皆さん、与謝地域山村活性化協議会の皆さんに感謝申し上げます。

○中学生議員6名が町長に質問（議長役除く）

小野町の将来を担う中学生が、自分の夢や希望を織り交ぜながら質問や提案を行い、町政や町議会への関心や理解を深め、社会に参画する能力を培ってもらうとともに、中学生の視点からの意見を今後のまちづくりに反映させることを目的とし、令和元年度の子ども議会以来4年ぶりに「中学生議会」を開催しました。

やない はると
矢内 陽人議長（小野中学校3年3組）

大人も楽しめる施設整備について

問 本格的なアスレチックや広場など、大人でも楽しめる施設を設けるのはどうか。

答 フィールドアスレチックや芝生広場など、だれもが楽しめる公園整備に向け調査研究をし、ユニバーサルデザインの視点を取り入れることで、全ての人が使いやすく、全世代の方が楽しめる施設となるよう、様々な角度から検討を進めたい。

たてかわ ゆな
館川 由奈議員
(小野中学校3年2組)

街路灯の設置について

問 小野町には街灯が少なく、特に夏井川沿いの堤防は、小中学生・高校生の利用が多い場所で、防犯の意味でも街灯を設置する必要があると思う。

また、夏井川沿いの堤防は整備することで、町民の憩いの場として利用できるのではないか。

答 毎年各行政区からの要望により優先的に設置する場所を考慮し、通学路の安全確保や犯罪の未然防止に努めている。夏井川堤防沿いについては、地元行政区と街路灯の増設と憩いの場となるような周辺の環境整備について協議を進め、「安全で快適な生活環境のまち」の実現に努めていく。

よしだ まさたか
吉田 真尊議員
(小野中学校3年1組)

道路の幅が狭いことについて

問 小野町は道路の幅が狭く、車とすれ違うのにギリギリな場所がある。

救急車がスムーズに通れないといった問題も想定され、道路の幅を広げてほしいと思う。

答 緊急車両の通行や消火・救助活動の際にも影響が出ないように計画的に拡幅工事を進め、未整備の区間についても安心して利用できる道路整備を進めたい。

ねもと なおき
根本 直輝議員
(小野中学校3年1組)

中学生議員が 町づくりについて問う!

7月21日に開催された「中学生議会」の質問・答弁の一部を掲載いたします。



しま
島 遥希議員
(小野中学校3年3組)

若年層、子育て世代移住・定住について

問 新築住宅を建てる際に、町で出た間伐材を活用してはどうか。

答 安価であるメリットと、必要なサイズや量の調達が難しいというデメリットがある。積極的に利用できるよう、関係機関と連携し検討したい。



むらかみ
村上 翼議員
(小野中学校3年1組)

旧小学校跡地利用について

問 若者の移住を図るために小学校跡地を利用し、企業を誘致することや、旧夏井第一小学校近くにETC利用のできるインターチェンジを建設してはどうか。

答 小学校跡地についても工業用地としてピーアールしている。旧夏井第一小学校近くにインターチェンジを作り、企業誘致と観光誘客を一體的に行えば、相乗効果も期待できると考える。何かの機会に道路公団や国土交通省などに話したい。



あいだ
會田 心美議員
(小野中学校3年2組)

小野町特産品のPRについて

問 小野町の特産品を、町のホームページやSNSなどで発信してはどうか。

答 小野町や観光協会のホームページ、SNSなどでアピールすることは、観光客を増やすためにたいへん有効である。積極的な情報発信に努めたい。

議会活動トピックス

小野ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場 (南田原井)を視察(8月10日)

小野ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場((株)ウィズウェイストジャパン【本社:埼玉県】)を訪問し、搬入計画の概要や水質測定について担当課長より説明を受け、現場を視察しました。



小野ウェイストパーク視察

新庁舎建設に伴う基本計画の策定についての 視察に来庁(8月21日)

矢祭町議会議員のみなさんが視察に来庁され、当町の新庁舎建設概要並びに経過について担当職員より説明、意見交換を行いました。



矢祭町議会からの質疑応答・意見交換

全国町村議会議員広報研修会に参加(9月27日)

今回の研修会は東日本地区の町村議会議員を対象とした研修会であり、弁護士やプランナー、グラフィックデザイナーによる専門的な知識を学びました。



全国町村議会広報研修会



基礎についての講演会

議会活動日誌

8月

- 2日～4日 監査決算審査
10日 月例全員協議会／小野ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場視察
11日 広野町サマーフェスティバル(広野町)
21日 矢祭町議会視察研修来庁
22日 福島県町村議会正副議長・事務局長研修会(福島市)
24日 総務文教常任委員会
25日 例月出納検査／令和4年度決算監査報告
27日 市町村対抗軟式野球大会小野町チーム激励金交付式
28日 議会改革特別委員会／執行部協議
29日 東北地方整備局への要望活動

9月

- 1日 議会運営委員会／第2回都市計画マスターPLAN策定委員会
3日 小野町総合防災訓練
4日 全員協議会／第1回都市計画審議会
7日～15日 小野町議会定例会9月会議
7日 総務文教常任委員会
10日 おのまち健康まつり
13日 予算決算常任委員会現地調査
14日 新庁舎建設等検討特別委員会
15日 月例全員協議会
19日～21日 全体研修(島根県・広島県)
25日 例月出納検査
27日～28日 全国町村議会広報研修会(東京都)
29日 全員協議会

10月

- 3日 小野町戦没者追悼式
6日 公立小野町地方総合病院企業団定例会
7日 小野小学校運動会
10日 月例全員協議会／議会改革特別委員会
11日～13日 総務文教常任委員会視察研修(神奈川県・静岡県)
12日 市町村対抗ソフトボール大会小野町チーム激励金交付式
13日 國土交通省要望活動
18日～20日 厚生産業常任委員会行政視察(福井県・京都府)
22日 小野町消防団秋季検閲式
23日 福島県町村議會議員研修会(郡山市)
24日～25日 令和5年度町村監査委員全国研修会(東京都)
26日 例月出納検査
27日 田村地方交通安全大会・交通安全パレード(田村市)／全員協議会
28日～29日 おのまち文化祭
31日 宮城県黒川地方町村議會議長会行政視察来庁
行政区長会との懇談会

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

令和5年
11月14日発行

176号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92

議会からのお知らせ

定例会12月会議は 12月7日(木)から開会します。

一般質問は12月8日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています。

●座席数の関係で入場できる人数に制限がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

(※傍聴席でのマスク着用は任意となります)

●傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。

●一般質問の様子をYouTubeによる動画配信をいたします。

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

表紙の写真

11月4日に開催された小野こまちロードレース（実行委員会主催）。県内外より約300人が出場しました。

こまちダム周辺に設定されたコースは、1周12キロの起伏にとんでおり、特にダムの管理棟付近に設置されたコーナーまでは急な上り坂。沿道で観戦していると選手の激しい息づかいが聞こえるようです。激戦を制し感情を爆発させる選手。完走は逃げたものの「前回より1周多く走られて良かった」と満足げな選手。

終了後、選手の方からそれぞれにレースに臨んだ思いとともに、「楽しかったです」「次回も来ますよ」という声、主催者にとっては何よりの励みになりますね。

マチイロで配信しています!
スマホ用アプリ

QRコードから
アクセス
してください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委 員 長	田 村 弘 文
副 委 員 長	竹 川 里 志
委 員	宗 像 芳 男
委 員	会 田 明 生
委 員	崎 勝 馬
委 員	川 矢 久 子
委 員	中 野 孝 一
委 員	會 田 百 合 子

小野町議会広報編集委員会 委員
中野 孝一

私達議員は、令和6年1月31日に4年間の任期満了を迎えます。任期開始から新型コロナウイルス感染症が流行し、議員活動が制限される日々が続き、思いどおりに活動できず歯がゆい期間でした。町民の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。残りの期間は、町民の皆様の負託にこたえるため、精一杯議員活動に努めて参ります。

最近は、新型コロナウイルス感染症と同時にインフルエンザが流行していますので、換気・マスクの着用・手洗い・手指消毒など基本的なことですが、感染予防を心掛け体調を整えるようにしましょう。

寒冷の候、町民の皆様にはご自愛のうえ、少し早いのですがどうぞ良いお年をお迎えください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページも
ご覧ください

あとがき